

自

開催の2か月
前までに提出

歯科技工士生涯研修 自由研修課程開催計画書

2021年11月24日

歯科技工士生涯研修中央本部委員会 御中

(主権者又は 開催実施者)	印
新潟 都道府県 歯科技工士会	支部
会長 大西 尚之	印

歯科技工士生涯研修規程に基づき、歯科技工士生涯研修自由研修課程を開催いたしますので計画書を提出いたします。

1	開催日時	2022年1月23日(日) / 10時00分～13時00分		
		年 月 日 () / 時 分 ～ 時 分		
2	研修日数・時間数	延 1 日間 / 延 3 時間 00 分	3	講師本部依頼の有無 <input type="checkbox"/> 本部依頼
4	主催	新潟県歯科技工士会	5	後援機関
6	催事名	令和3年度新潟県歯科技工士会学術講演会		
7	会場名	新潟県歯科技工士会館 ・ Zoom		
8	所在地	新潟市中央区烏屋野南3-1-60	9	募集定員 <input type="checkbox"/> 会場20 オンライン100 名
10	募集期間	2021年12月13日～2022年1月14日	11	受講料 円
12	申込み・問合せ先	〒 950 - 0950 新潟市中央区烏屋野南3-1-60 TEL 025 - 282 - 4331		

- 一、2の研修日数・時間数は、単位算定の基準となりますので正確な延日数・時間をご記入下さい。
- 二、講師を本部に委ねる場合は、3の欄にその旨をご記入下さい。
- 三、開催計画書の提出が期限後のときは、本会広報誌等において開催告示ができない場合があります。

	講師名 (原則として本会会員)	テーマ (講演内容の概略を400字以内に纏めて必ず添付すること)	講演等の区分 (○印を付す)		所要時間
			講演	テーブル クリニック	
1	水野 邦浩 (神奈川県歯科技工 士会会員)	総義歯製作 ～チェアサイドとラボサイドで共有したい模型 の観察と分析の重要性～	○		3.0
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

(注) 歯科技工士が講師の場合は、原則として本会の会員とする。(細則第4条第3項)

総義歯製作

～チェアサイドとラボサイドで共有したい模型の観察と分析の重要性～

神奈川県歯科技工士会 水野 邦浩

先人たちが活躍していた時代から現在まで、総義歯治療には様々な理論や、それに基づく手技・手法とシステムが紹介されてきた。治療のゴールは「適切な診査・診断と患者の主訴やニーズを歯科医師、歯科技工士が十分に理解する。それに基づき治療および総義歯製作を行うことが、患者満足度の高い総義歯を提供することにつながる。」と考えている。

超高齢化社会となった現在では、患者自身の高齢化による老化の進行・患者への口腔衛生指導の難しさ・生体の変化(顎関節・筋・骨・粘膜)や機能の変化(低位咬合・下顎位の偏位)などが起因して、咀嚼機能・嚥下機能・発音構音機能などの生理的な状態を総義歯治療にて機能回復することが難しくなっている。

そして日常臨床において歯科技工士が預かる模型には、印象採得を行った歯科医師の総義歯製作に対する概念や術式、または手技・手法により様々な表面性状や形態が再現されており、固定源を持たず粘膜負担で機能する総義歯製作においては完成までの様々な作業工程があり、術者は模型の再現性を超える総義歯製作を行うことは出来ないと考えられる。

講演では、概形印象・作業模型から観察・分析し、口腔内で起きていると思われる歯槽骨の吸収や顎堤粘膜の状態や表面性状から、どの印象材で採得された模型なのか・どのような術式・手技・手法で採得された印象なのか・辺縁形態の観察・粘膜面の観察・解剖学的ランドマークの観察など、得られた情報から口腔内に装着される製作技工物に反映させるにはどのようなアプローチが必要になるかを、気をつけたい総義歯の解剖学的形態や回復したい研磨面形態などを堤式規格模型の紹介と共に解説をすすめる。